



愛知県「知の拠点」ナノテクイノベーション戦略推進地域

次世代モノづくりのためのナノ計測分析ツールを活用した産学官連携によるナノテクイノベーションの実現

総合調整機関

公益財団法人 科学技術交流財団
〒470-0356
愛知県豊田市八草町秋合1267番1
「知の拠点」あいち産業科学技術総合センター内
TEL0561-76-8323

参画機関（太字はプログラム実施機関）

- 産…一般社団法人中部経済連合会、名古屋商工会議所
- 学…**名古屋大学**、**名古屋工業大学**、**豊橋技術科学大学**、**豊田工業大学**
- 官…愛知県
- 金…株式会社三菱東京UFJ銀行



プロジェクトディレクター
岩田 勇二

略歴：昭和52年に愛知県へ入庁後、「知の拠点」など県の科学技術政策等に従事し、平成23年3月に退職後、同年6月（公財）科学技術交流財団の専務理事に就任した。

自動車に代表されるモノづくりの厚い産業集積を有する愛知県では、現在、付加価値の高いモノづくりを支援する研究開発拠点「知の拠点」の整備が進められている。地域産学官の研究交流の結節点としての役割を担う当財団が、「知の拠点」プロジェクトの原動力となって、ここ「知の拠点」を舞台に、ナノテクに関連する革新的な新製品・新技術の創出に注力していきたい。

地域イノベーション戦略

愛知県が愛・地球博跡地に整備を進める、付加価値の高いモノづくりを支援する研究拠点「知の拠点」において、最先端計測分析ツール（シンクロトン光と高度計測分析・実証試験装置）を活用し、モノづくりのイノベーションの基盤となる産学官連携による研究開発を行い、ナノ計測分析ツールに裏打ちされた高機能部材・デバイスを実現する。この実現を強力に推進するため、キーマンとなる研究者とコーディネータを配置し、計測分析ツールの高度化や事業化を加速する。

事業の内容

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積（実施機関：名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学）

（1）県主導による重点共同研究開発（名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学 平成23年～27年度）

県主導による産学官共同研究開発（重点研究プロジェクト）は、大学等のシーズをもとに企業による製品化を図ることを目的とし、3テーマそれぞれに国際的優位性のあるシーズを持つ研究者を国内外から招へいし、研究開発を推進する。

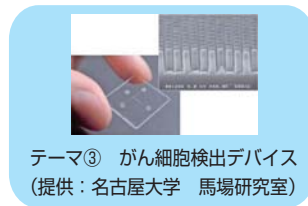
テーマ： ① 低環境負荷型次世代
ナノ・マイクロ加工技術の開発



② 食の安心・安全技術開発



③ 超早期診断技術開発



（2）地域企業・大学等によるナノテク研究開発（名古屋大学 平成23年度～）

「知の拠点」の計測分析ツールをさらに高度化するため、これらに関する優れたシーズを持つ研究者を地域外から招聘し、地域企業・大学等によるナノテク研究開発を推進する。

2. 大学等の知のネットワークの構築（実施機関：公益財団法人科学技術交流財団）

（1）重点研究プロジェクト地域連携コーディネータ

大学等のシーズから企業の製品化・実用化という橋渡し研究としての重点研究プロジェクトの実効性を高めるため、重点研究プロジェクト地域連携コーディネータを配置し、大学等のシーズと企業ニーズを詳細に把握し、研究管理、新たなシーズ・ニーズのマッチング及び事業化支援等を行う。

（2）シンクロトン光地域連携コーディネータ・高度計測分析機器地域連携コーディネータ

シンクロトン光をはじめとした計測分析ツールを活用した大学等の解析・評価技術を、企業の製品開発や課題解決につなげるため、分野ごとにシンクロトン光地域連携コーディネータや、高度計測分析機器地域連携コーディネータを配置する。これにより、企業が潜在的に抱える技術的課題に対して、ナノテクに立脚した課題解決手法を提供し、地域企業・大学等によるナノテク研究開発を促進する。